

教科		英語	科目	英語	単位数	6
学年	中学1年	科・専攻・コース				
教科書	NEW HORIZON 1		副教材	教科書準拠ワークブック 夏期・冬期テキスト（基本問題集）		
学習到達目標		○外国語に対する興味を持ち、初歩的な外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする。 ○外国語の基礎的な知識を理解し、適切な表現で話したり、書いたりできる。				
評価の観点		<ul style="list-style-type: none"> ・授業中のコミュニケーション活動に積極的に取り組んでいるか。【関心・意欲】 ・基本的な英語の音声の特徴をつかみ、正しく発音できているか。【表現】 ・会話や説明文の情報を適切に読み取ることができているか。【理解】 ・単語、語句、文法を理解し、正しく使うことができているか。【言語】 				
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標			備考
前	前期第1回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ Hi, English! 【挨拶、教室英語】 ・ Unit 0 【アルファベット】 ・ Unit 1 「はじめまして」 【be 動詞 am, are】 ・ Unit 2 「学校で」 【be 動詞 is】 	【関心・意欲】 英語の音や文字に関心を持ち、間違えることを恐れず積極的に英語を話そうとしている。 【表現】 適切な音量で、英語らしく正しく発音することができる。 【理解】 英語の挨拶や指示を正しく聞き取り、適切に反応することができる。 自己紹介や説明を正しく聞き取り、概要を言うことができる。 【言語】 アルファベットが正しく書ける。 文を書く時のルールを守り、be 動詞を用いる文を正しく書くことができる。			
	前期第2回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ Unit 3 「わたしの好きなこと」 【一般動詞 like play】 ・ Listening Activity 1 「なんのCM？」 ・ Unit 4 「ホームパーティ」 【複数形、命令文】 	【関心・意欲】 進んで自分のことを伝えようしたり、質問して、相手のことを聞き取ろうとしている。 【表現】 適切な表現を使って、自分のことを話したり、相手にたずねたり、答えたりできる。 【理解】 英文を読んだり、CD や教師の英語を聞いたりして内容が理解できる。 【言語】 be 動詞と一般動詞の違いを正しく使い分けることができる。名詞の複数形の意味・用法を理解し、使うことができる。			
	前期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ Presentation 1 「自己紹介」 ・ Unit 5 「学校の文化祭」 【What の疑問文】 	【関心・意欲】 積極的に自分のことを書いたり、発表しようとしている。 【表現】 モデル文を正確に音読し、ロールプレイができる。			

		<ul style="list-style-type: none"> ・ Daily Scene 1 「体調をたずねる」 ・ Unit 6 「オーストラリアの兄」 【3人称単数現在形】 	【理解】 書かれた情報や相手が言ったことの大ちな部分を理解することができる。 【言語】 What を用いる疑問文の構造、用法を理解している。 3単現を用いた文の構造、発音を正しく理解している。	
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
後	後期第1回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ Daily Scene 2 「電話の会話」 ・ Listening Activity 2 「友だちのプロフィール」 ・ Unit 7 「ブラジルから来たサッカーコーチ」 【Who の疑問文】 ・ Daily Scene 3 「グリーティングカード」 ・ Unit 8 「イギリスの本」 【Where Whose の疑問文】 	【関心・意欲】 スピーチを聞いたり、相手の話すことに関心を持ち、会話を続ける工夫や努力をする。 【表現】 自分と相手以外の人や物事について質問したり、答えることができる。 【理解】 英文の内容を読んだり、聞いたりして理解できる。 【言語】 疑問詞を用いた文の構造を理解し、正しく用いることができる。	
	後期第2回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ Daily Scene 4 「ウェブサイト」 ・ Unit 9 「チャイナタウンへ行こう」 【現在進行形】 ・ Daily Scene 5 「道案内」 ・ Listening Activity 3 「電車のトラブル発生」 ・ Presentation 2 「一日の生活」 ・ Unit 10 あこがれのボストン 【can, When の疑問文】 	【関心・意欲】 自分のことについて積極的に発表したり、相手に伝えようとしている。 【表現】 伝えたい内容によって語句や表現を選んで話すことができる。 【理解】 英文や会話、掲示物の内容を正しく読み取ったり、聞いたりできる。 【言語】 現在進行形や can の用法を理解し、正しく使うことができる。	
	学年末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ Daily Scene 6 「ちょっとお願い」 ・ Unit 11 「思い出の1年」 【規則動詞の過去形】 ・ Daily Scene 7 「絵はがき」 ・ Listening Activity 4 「休暇中の出来事」 ・ Let's Read The Restaurant with Many Orders 	【関心・意欲】 間違えることをおそれず、今まで習った表現を使って進んで書いたり、話したりしようとしている。 【表現】 モデル対話を応用して、適切な表現で会話できる。 【理解】 英文や物語の内容を正しく読み取ることができる。 【言語】 過去形の文の構造を理解し、正しく使うことができる。 紙はがきの書き方を理解している	

教科		国語		科目		単位数	
学年	中学1年	科		専攻・コース			
教科書		光村図書		副教材		小倉百人一首・つまづかない 文法・漢字練習辞典	
学習到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成に着目して読み、筆者の主張を理解することができる。 ・人の意見や発表を聞き、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・学習した漢字を用いて文章を書き、意見や感想を発表することができる。 					
評価の観点		<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで段落の要点をまとめ、筆者の考えをとらえることができたか。 ・小説や物語の登場人物の心情を場面ごとにとらえ、心情の変化を読み取ることができたか。 ・人の意見を聞き、自分の考えと比較したり考えを深めたりすることができたか。 ・自分の考えを文章に書いたり発表したりすることができたか。 					
期	月	学習内容・項目		学習のポイントと到達目標		備考	
前 期	前期第1回定期試験	【基礎基本】 野原は歌う 声を届ける 【物語】 花曇りの向こう		<ul style="list-style-type: none"> ・情景や心情を想像しながら音読し、工夫して読む。 ・自己紹介文を書き、発表する。 ・場面の展開や登場人物の描写に着目して、内容を読み取る。 		百人一首 漢字 文法	
	前期第2回定期試験	【説明】 ダイコンは大きな根？ 【説明】 ちょっと立ち止まって 【詩】 詩の世界		<ul style="list-style-type: none"> ・段落の役割に着目しながら、文章の内容をとらえる。 ・筆者の考えを基に、自分のものの見方や考え方を広げる。 ・詩の表現の特徴をとらえて読み、内容を理解する。 		百人一首 漢字 文法	
	前期末試験	【随筆】 空を見上げて 【物語】 星の花が降るころに 【物語】 大人になれなかった弟たちに		<ul style="list-style-type: none"> ・言葉にはどのような力があるのかを読み取り、言葉についての考えを深める。 ・登場人物の気持ちや行動、場面の展開や描写に着目して読み、自分の考えを持つ。 ・時代背景を押さえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 		百人一首 漢字 文法	

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
後 期	後期第1回定期試験	【記録】 シカの落ち穂拾い 【古文音読】 いろは歌 【古文】 蓬萊の玉の枝「竹取物語」	<ul style="list-style-type: none"> ・示されている事実と筆者の考えとの関係を読み取る。 ・仮名遣いに注意しながら音読し、古文の言葉の響きや調子に慣れる。 ・竹取物語を通じて古典の世界に触れる。 	百人一首 漢字 文法
	後期第2回定期試験	【漢文】 今に生きる言葉 【説明】 幻は生きていた 【鑑賞】 根拠を明確にして魅力を伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・故事成語の由来と意味を理解し、漢文独特の言いまわしに読み慣れる。 ・文章に表れている考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げる。 ・作品を鑑賞し、その魅力や根拠を明確にして文章を書く。 	百人一首 漢字 文法
	学年末試験	【ノンフィクション】 桜守三代 【小説】 少年の日の思い出 【説明・創作】 印象深く思いを伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・文章に表れている考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げる。 ・場面展開や人物の描写に注意しながら、登場人物の心情の移り変わりとらえ、登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。 ・伝えたい自分の考えや気持ちを考えながら、メッセージを書く。 	百人一首 漢字 文法

教科		社会		科目		単位数	3
学年	中学1年	科		専攻・コース			
教科書		中学社会 地理・歴史 (教育出版)		副教材	白地図(とうほう) 総合歴史(浜島)		
学習到達目標		地理・歴史を学ぶ楽しさを実感し、地域の特色、歴史の大きな流れ、そこに生きる人々の姿について確かな理解を図る。					
評価の観点		①社会的事象への関心・意欲・態度②社会的な思考・判断・表現 ③資料活用の技能④社会的事象についての知識・理解					
期	月	学習内容・項目		学習のポイントと到達目標		備考	
前 期	前期第1回定期試験	<地理> 世界のさまざまな地域 1 私たちの地球と世界の地域構成 2 人々の生活と環境		①地球儀や地図帳の見方に慣れる ②大陸と海洋の分布、主な国の名称と位置、地域区分の理解 ③世界各地の気候、自然、言語、宗教の理解			
		<歴史> 原始・古代の日本と世界 1 文明のおこりと日本列島 2 古代中国と「倭」の王権 3 大帝国の出現と律令国家の形成 4 貴族社会の発展		①人類の出現、各地の古代文明について理解する。 ②日本列島で狩猟、採集を営んでいた人々の暮らしの変化について考える。 ③日本列島での農耕の広まりによる人々の生活の変化に気づき、国家が形成されていく過程のあらましを東アジアとのかかわりを通して理解する。 ④奈良・平安時代の流れを理解する。			
	前期末試験	<地理> 世界の諸地域 1 アジアの多様性と経済発展 2 アフリカの人々の暮らしとその変化 3 統合を強めるヨーロッパの国々		①アジアを構成する主な国の位置と名称の理解 ②中国を例に自然、人口、経済についての理解 ③アフリカ州の位置と自然環境、主な国の位置と名称の理解 ④ヨーロッパ州の主な国の位置と名称の理解 ⑤主な国の農業、工業とEUの理解			

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
後 期	後期第1回定期試験	<歴史> 中世の日本と世界 1 世界の動きと武家政治の始まり 2 揺れ動く武家政治と社会	①13世紀、モンゴル帝国の出現が東西の交流を促進させたことを理解し、日本では武士が台頭して鎌倉幕府が成立し、武士や民衆が新たな歴史の担い手になっていくことを理解する。 ②南北朝の争乱と室町幕府の成立、応仁の乱後の社会的な変動と戦国の動乱について、東アジア世界とのかかわりとともに理解する。	
		<地理> 世界の諸地域 4 世界に大きな影響力を持つ北アメリカ 5 南アメリカの開発と発展 6 他地域と結びつくオセアニア	①北アメリカ州の歴史と自然環境を大観する。 ②アメリカ合衆国の農業、工業、世界への影響力を理解する。 ③南アメリカ州の主な国の位置と名称を理解する。 ④オセアニア州の主な国の位置と名称を理解する。	
	学年末試験	<歴史> 近世の日本と世界 1 結びつく世界との出会い 2 天下統一への歩み	①14～16世紀のヨーロッパで、ルネサンス、宗教改革、新航路開拓などの動きがおこり、ヨーロッパ各国が世界各地へ進出していったことを理解する。 ②織田、豊臣による全国の統一事業を概観し、近世社会の基礎がつけられていったことを理解する。	

教科		数学		科目	中学校数学 I	単位数	6 単位
学年	中学 1 年	科			専攻・コース		
教科書		数研出版			副教材	自立学習	
学習到達目標		数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する力を高めるとともに、数学的活動のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断しようとする態度を育てる。					
評価の観点		正・負の数、文字式、1 次方程式、比例・反比例、平面図形、空間図形、資料の整理と活用において数学的な見方や考え方、技能、知識、意欲などから総合的に評価する。					
期	月	学習内容・項目			学習のポイントと到達目標		備考
前	4	正の数と負の数 加法と減法			<ul style="list-style-type: none"> 正の数・負の数の意味を理解し、また、それらで表された数量の意味を理解している。 正の数・負の数の加法、減法の意味を理解し、その計算ができる。 		
	5	乗法と除法			<ul style="list-style-type: none"> 正の数・負の数の乗法、除法の意味を理解し、その計算ができる。 累乗の表し方を理解し、その計算ができる。 		
	6	文字と式			<ul style="list-style-type: none"> 文字式で表すことのよさについて考えることができる。 文字式で表された積や商を\times, \divの記号を用いて表すことができる。 文字に数を代入することで、文字式が表す値を求めることができる。 		
	7	文字式の計算			<ul style="list-style-type: none"> 1 次式の加減の計算方法を理解し、計算できる。 文字を使った公式、数量が等しいことを表す等式、数量の大小関係を表す不等式の意味を理解し、表すことができる。 		
期	9	1 次方程式			<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象の等しい関係について、方程式に表すことが出来るものがあることに気づく。 移項の意味や手法を理解し、移項を利用して方程式を解くことができる。 		

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
後	10	比例 グラフ	<ul style="list-style-type: none"> 比の値や比例式の意味とその性質を理解し、比例式を解くことができる。 比例の関係のグラフの形とその特徴を理解し、比例の式からグラフをかいたり、グラフから比例の式を求めたりすることができる。 	
	11	反比例	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象の 2 つの数量の関係を、変化や対応のようすに着目して、調べ反比例について考えることができる。与えられた条件から反比例の式を求めることができる。 反比例の関係のグラフの形と特徴を理解し、反比例の式からそのグラフをかきことができる。 	
	12	平面図形	<ul style="list-style-type: none"> 直線、半直線、線分、距離、弧、弦など用語の意味を理解する。 垂線、垂直二等分線、角の二等分線、円の接線の意味を理解し、作図ができる。 	
期	1	空間図形	<ul style="list-style-type: none"> 角錐の特徴を知り、展開図を描き、体積・表面積を求めることができる。 πを用いて、円錐や球の体積、表面積を求めることができる。 	
	2	度数分布表、ヒストグラム 代表値	<ul style="list-style-type: none"> 度数分布表、ヒストグラム、度数分布多角形について理解する。 平均値、中央値、最頻値について理解し、データの分析に活用できる。 相対度数の必要性と意味を理解し、資料の比較をすることができる。 	
	3	近似値、有効数字	<ul style="list-style-type: none"> 近似値、有効数字を理解し、資料の整理に活用することができる。 学習した内容を活用し、資料の傾向をとらえ、まとめ、説明することができる。 	

教科		理科		科目		単位数		3	
学年	中学1年	科			専攻・コース				
教科書		自然の探求 中学校理科 (教育出版)			副教材		グラフィックサイエンス理科資料集 (明治図書)		
学習到達目標		自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。							
評価の観点		①自然事象への関心・意欲・態度 ②科学的な思考・表現 ③観察・実験の技能 ④自然事象についての知識・理解							

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
前	4	<ul style="list-style-type: none"> 物質の区別 気体の性質 	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの物質についての観察・実験を通して、固体や液体、気体の性質、物質の状態変化について理解するとともに、物質の性質や変化の調べ方の基礎を身につける。 気体を発生させてその性質を調べる実験を行い、気体の種類による特性を見いだすとともに、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につける。 	
	5	<ul style="list-style-type: none"> 水溶液の性質 	<ul style="list-style-type: none"> 物質が水に溶けるようすの観察を行い、水溶液のなかでは溶質が均一に分散していることを見いだす。 水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連づけてとらえる。 	
	6	<ul style="list-style-type: none"> 物質の状態変化 	<ul style="list-style-type: none"> 物資の状態変化についての観察・実験を行い、状態変化によって物質の体積は変化するが、質量は変化しないことを見いだす。 物質の状態が変化するときの温度の測定を行い、物質は融点や沸点を境に状態が変化すること、沸点の違いによって物質を分離することができることを見いだす。 	
期	7	<ul style="list-style-type: none"> 光とその性質 	<ul style="list-style-type: none"> 光の反射や屈折についての実験を行い、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射・屈折するときの規則性を見いだす。 凸レンズのはたらきについての実験を行い、物体の位置と像の位置および像の大きさとの関係を見いだす。 	

8	<ul style="list-style-type: none"> 音とその性質 	<ul style="list-style-type: none"> 音についての実験を行い、音は物体が振動することによって生じ、空気中などを伝わることを見いだすとともに、音の高さや大きさは発音体の振動の仕方に関係することを見いだす。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 力と圧力 	<ul style="list-style-type: none"> 物体に力をはたらかせる実験を行い、物体に力がはたらくとその物体が変形したり、動き始めたり、運動のようすが変化したりすることを見いだすとともに、力は大きさと向きによって表されることを知る。 圧力についての実験を行い、圧力は力の大きさと面積に関係があることを見いだす。また、水圧や大気圧についての実験を行い、その結果を水や空気の重さと関連づけてとらえる。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの生物を観察しよう 花のつくりとはたらき 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な生物の観察を行い、いろいろな生物がさまざまな場所で生活していることを見いだすとともに、観察器具の操作、記録のしかたなどの技能を身につけ、生物の調べ方の基礎を習得する。 いろいろな植物の花のつくりの観察を行い、その観察記録に基づいて、花のつくりの基本的な特徴を見いだすとともに、それらを花のはたらきを関連づけてとらえる。 		
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
後	10	<ul style="list-style-type: none"> 根・茎・葉と水のゆくえ 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな植物の根・茎・葉のつくりの観察を行い、その観察記録に基づいて、根・茎・葉のつくりの基本的な特徴を見いだすとともに、それらを蒸散と関連づけてとらえる。 	
	11	<ul style="list-style-type: none"> 葉と日光 	<ul style="list-style-type: none"> 植物の光合成についての実験を行い、光合成のしくみを見いだすとともに、植物の呼吸を光合成と関連づけてとらえる。 	

期	12	<ul style="list-style-type: none"> 植物の仲間 	<ul style="list-style-type: none"> 植物の花や葉、茎、根の観察記録に基づいて、それらを相互に関連付けて考察し、植物は体のつくりの特徴に基づいて分類することができることを見いだすとともに、植物の種類を知る方法を身につける。 シダ植物やコケ植物の観察を行い、これらと種子植物の違いを知る。 	
	1	<ul style="list-style-type: none"> 火山活動と火成岩 	<ul style="list-style-type: none"> 火山の形、活動のようすおよびその噴出物を調べ、それらを地下のマグマの性質と関連づけてとらえるとともに、火山岩と深成岩の観察を行い、それらの組織の違いを成因と関連づけてとらえる。 	
	2	<ul style="list-style-type: none"> 大地の歴史と地層 	<ul style="list-style-type: none"> 野外観察などを行い、観察記録をもとに、地層のつき方を考察し、重なり方や広がり方についての規則性を見いだすとともに、地層とそのなかの化石を手がかりとして過去の環境をと地質時代を推定する。 	
	3	<ul style="list-style-type: none"> 地震と大地の変化 	<ul style="list-style-type: none"> 自身の体験や記録をもとに、その揺れの大きさや伝わり方の規則性に気づくとともに、地震の原因を地球内部のはたらきと関連づけてとらえ、地震にともなう土地の変化のようすを理解する。 	